

## 猪名川と市街化の移り変わり

昭和22



昭和36



昭和45



昭和59



豊かで安全な

# 猪名川の明日を みんなで考えよう。

淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料 第二稿 猪名川ダイジェスト版



平成15年7月発行

R100 PRINTED WITH SOY INK  
●この印刷物は再生紙及び環境対応型大豆油(SOY)インキを使用しています。



国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所  
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所

# これまでの経緯と今後

平成9年に改訂された河川法によると、今後20～30年間の「河川整備計画」の策定に当たっては、住民の意見を反映させ、学識経験者や自治体の意見を聴くことが定められました。

この改正河川法の趣旨に基づき、淀川水系では、学識経験者などから成る「淀川水系流域委員会」を組織し、猪名川の今後の整備のあり方についても検討を行っていただきました。委員会の運営は、委員が自主的に行い、会議および資料、議事録等はすべて公開、あらゆる機会を通じて幅広い意見を収集するなど、これまでに例を見ない方法で進められ、平成15年1月17日には、「新たな河川整備をめざして」という提言をいただきました。

近畿地方整備局は、この「提言」を受けて、猪名川を含めた淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第1稿）を作成しました。

それに基づき、住民の皆様及び自治体から説明会等を通じて、数多くの有意義なご意見をいただくとともに、流域委員会での議論を踏まえ、このたび改めて、説明資料（第2稿）を取りまとめました。

この第2稿の実施・検討項目等について、ご意見をお聴かせください。

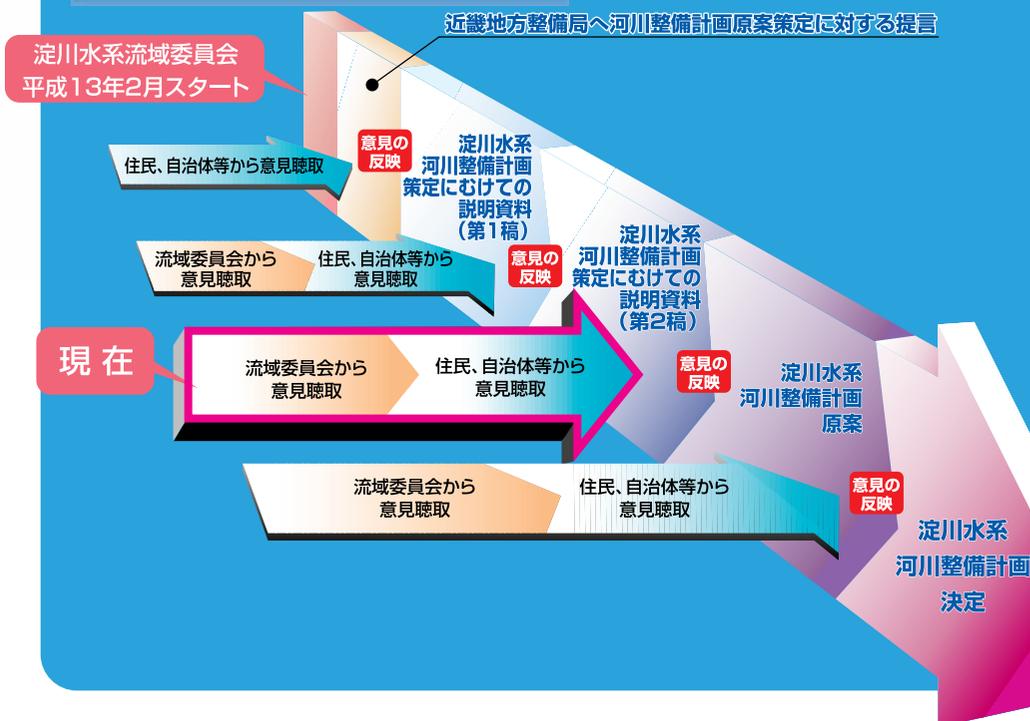
## 淀川水系流域図



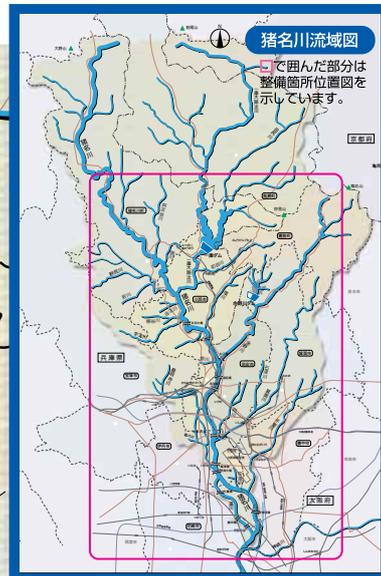
## 河川法の改正の流れ



## 淀川水系河川整備計画策定の流れ



# 整備箇所位置図



## 凡例

	実施項目	検討項目
	河川環境	河川環境
	治水・防災	治水・防災
	利水	利水
	ダム	ダム

Legend for numbered markers:

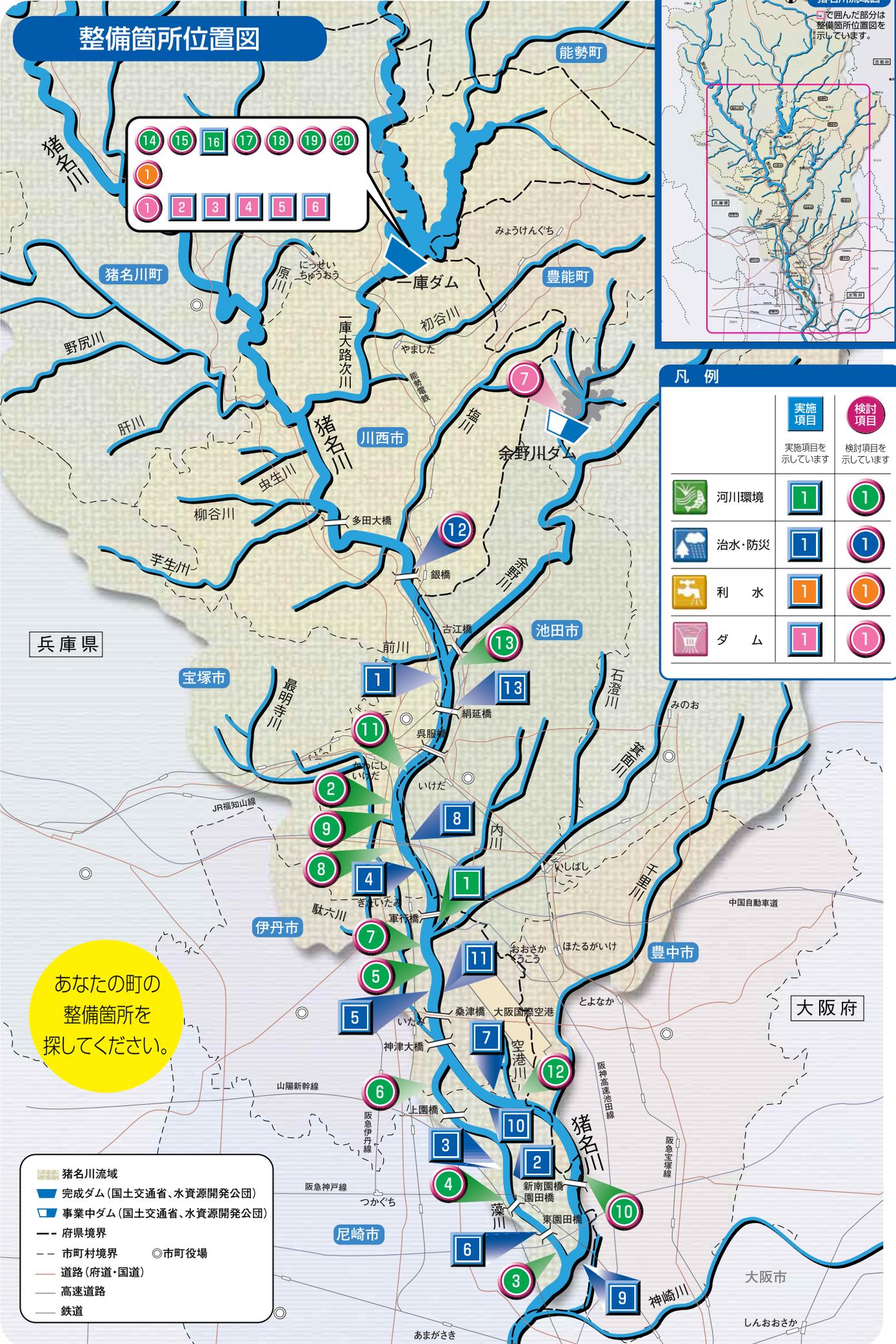
- 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20 (Green circles)
- 1 (Pink circle)
- 1, 2, 3, 4, 5, 6 (Pink squares)

兵庫県

あなたの町の整備箇所を探してください。

Legend for map symbols:

- 猪名川流域 (Pig Name River Basin)
- 完成ダム (国土交通省、水資源開発公団) (Completed Dam)
- 事業中ダム (国土交通省、水資源開発公団) (Under Construction Dam)
- 府県境界 (Prefecture Boundary)
- 市町村境界 (City/Town/Village Boundary)
- 市町役場 (City/Town/Village Office)
- 道路 (府道・国道) (Road)
- 高速道路 (Expressway)
- 鉄道 (Railway)



## モニタリング

### 現状の課題

- 冠水頻度の減少により、高水敷の干陸化が進んでいます。
- その結果、ヨシなど湿地性植物が衰退、他方ツル性植物や樹木が繁茂し、河川特有の植生が減少しています。
- 瀬や淵、湿地帯、ワンドやたまりが減少し、生物の生息・生育環境が悪化。生物にとって住みにくい川になっています。

モニタリングの結果を評価しフィードバックを行います

### 整備内容

#### 実施項目

河川環境のモニタリングを実施するとともに、得られた基礎資料をもとに、生物の生息・生育環境に関する評価を行います。

- 1 住民との協働で整備した下河原地区ワンドのモニタリングを継続実施します。
- これまで実施してきた「多自然型川づくり」の評価を実施します。

#### 流域全体

■下河原地区のワンドでのワークショップの様子



## 河川形状

### 現状の課題

これまでの河川整備によって構築された堤防、高水敷、低水路等により、河川形状が不連続になっています。

- 川の横断方向(水域～高水敷・堤防～河川区域外)に連続性が分断されています。
- 縦断方向(山～湖・川～海)は、ダム・堰等の河川横断工作物によって分断されています。



平成14年



河川形状の連続性の修復を目指します

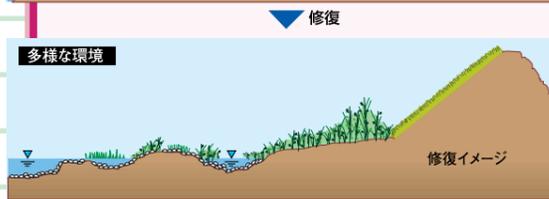
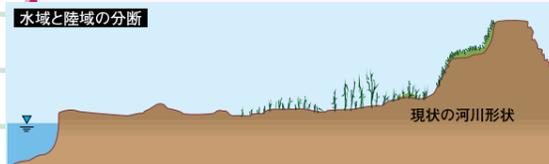
### 整備内容

#### 検討項目

#### 横断方向の河川形状の修復

- 2 下加茂地区において、その修復方法等について検討します。

#### 修復イメージ図



●河川形状を修復し、水陸移行帯を保全しつつ、再生についても検討します。

- 3 藻川(猪名川) 高田地区
- 4 藻川(猪名川) 東園田地区
- 5 北河原地区

#### 縦断方向の河川形状の修復

●現状の堰、落差工等において、魚類などの遡上・降下に配慮した構造を検討します。

#### 堰・落差工

- 6 大井井堰
- 7 三ヶ井井堰
- 8 高木井堰
- 9 久代北台井堰
- 10 上津島床固
- 11 池田床固

#### 支川合流部

- 12 空港川合流部
- 13 余野川合流部

#### 既設ダム

- 14 一庫ダム

#### 魚道設置事例



施工前 施工後  
魚道を横断する半すり鉢状の緩やかなスロープ状の魚道とし、様々な生態・サイズの魚介類が遡上しやすい設計としました。(いたち川・柏尾川合流点落差工)

## 水量

### 現状の課題

- これまでのダムの操作は、安定的な水供給のために一定の効果あげてきました。
- その反面、中小洪水も貯留したことで、下流河川の水位変動や攪乱を減少させました。
- ダム下流では、魚類の餌料となる藻類の生育を妨げるなど、生態系に影響を与えている場合があります。

自然流況に近い流量が流れるようにします

### 整備内容

#### 検討項目

- 15 治水・利水への影響を考慮した上で、水位変動や攪乱の増大を図るため、ダムの有効な操作方式、放流量などを検討します。

#### 一庫ダム

#### ■攪乱機能の低下を補うフラッシュ放流の試験運用の検討



フラッシュ放流など起こし、攪乱を生じさせる検討を行います。

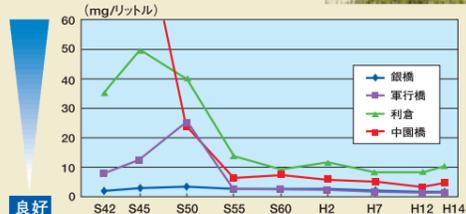
●河川環境上で必要な水量を検討し、確保可能な水量を把握するために必要な諸調査を実施します。

#### 流域全体

現状の課題

- 近年、水質が改善されてきましたが、水に親んでいた頃のレベルにまで回復していません。
- ダム湖では、流入汚濁の増大に伴う富栄養化現象、深層部での貧酸素化現象に加え、ダムからの放流水の水温が下流環境に与える影響が問題になっています。
- 生物や、その生息・生育環境に適するとともに、安心して水辺で遊べ、水道水源として望ましい水質管理が求められています。

■猪名川の水質の現状 (BOD)



アオコ発生状況 (田尻川)

流域全体での取り組みを強力に推進します

整備内容

実施項目

- 16 ダム湖や河川の水質調査を継続実施するとともに、ダイオキシンなどの有害化学物質についても調査します。

一庫ダム

整備内容

検討項目

- 琵琶湖・淀川流域水質管理協議会 (仮称) の設立を検討します。
- 流域全体
- わかりやすく、河川特性に応じた水質目標の設定
  - 関係機関等との情報共有と住民との連携の強化
  - 水質事故の防止・対処の取り組みの強化
  - 具体的なアクションプログラム作成とフォローアップ体制の検討
- 「淀川流域の水物質循環に係る調査」を実施します。
- 流域全体

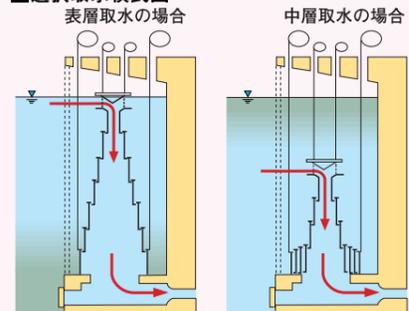
- 水質管理体制を強化します。
- 流域全体

- 17 既設の選択取水施設、深層曝気装置を継続活用し、より効率的な操作方法を検討します。
- 一庫ダム

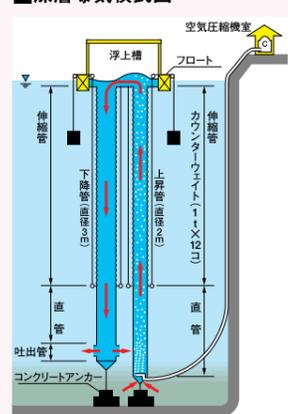
- 18 ダム湖の底質モニタリングを継続実施し、底質改善対策についても検討します。
- 一庫ダム

- 河川水質だけでなく、沿岸海域の水質も視野に入れた総負荷削減のため、流域と連携を図ります。
- 流域全体

■選択取水模式図



■深層曝気模式図

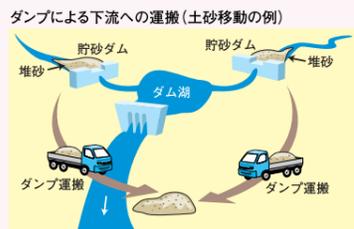


洪水時に、ダンプ等により土砂を運搬させダム下流へ流す。

整備内容

検討項目

- 19 土砂移動の連続性確保について検討します。
- 一庫ダム



洪水時に、ダンプ等により土砂を運搬させダム下流へ流す。

山地から沿岸に至るまで、総合的に検討します

現状の課題

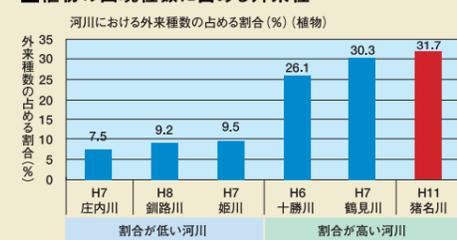
- ダムなどの河川横断工作物によって、土砂移動の連続性が阻害されています。
- そのため、下流河川の一部区間で河床材料の変化を招き、水生生物の生息・生育環境に影響を与えているところもあります。

山地から沿岸に至るまで、総合的に検討します

現状の課題

- これまでの河川整備により、河川環境は大きく変化してきました。
- こうした変化も受けて、固有種を含む在来種が減少する一方、外来種が増加しています。
- 湿地性植物から陸地性植物への移行が進むなど、長年育まれてきた生態系に変化が生じています。

■植物の出現種数に占める外来種



■猪名川の名外来種



ネズミギ (イネ科)



ブラックバス

■密放流による外来種



シルバーアロワナ (平成14年8月16日捕獲)



アリゲーターガー (平成14年7月10日捕獲)

モニタリングを継続実施し、対策を検討します

整備内容

検討項目

- 生物の生息・生育環境を脅かす外来種対策を進めます。
- 流域全体

関係機関、地域住民等と連携しながら推進します。

自治体の条例制定に向けた調整・協議をします。

広報・啓発

予防措置

すでに侵入した外来種への対応

調査・研究

現状の課題

- 河川は多様な自然景観を有し、都市空間における貴重な親水空間でもあります。場所によって、コンクリート護岸・橋梁等が周辺の景観と調和していません。
- ダム貯水池の法面では、裸地が存在するところもあり、景観を損ねています。

■一庫ダム貯水池法面の裸地



周辺の景観との調和、裸地対策を検討します

整備内容

実施項目

- 周辺景観との調和に関して検討するとともに、河川管理者以外が実施する橋梁整備等許認可に際しては河川景観の観点から助言を行います。
- 流域全体

整備内容

検討項目

- 20 ダム貯水池の法面における水位変動域の裸地対策として、緑化を検討するとともに、その結果を踏まえて試験施工を実施します。
- 一庫ダム

- 河川の景観を特徴づけている樹林帯などの保全については、治水上の影響・効果を考慮しつつ検討します。
- 流域全体

現状の課題

- 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置や、それらの工事に伴う濁水の発生などが、生物の生息・生育環境に影響を与えています。

河川工事は、工法などに細心の注意を払います

整備内容

実施項目

- 生物に配慮した護岸工法を採用し、生物の生息・生育に影響を与えないよう、濁水防止等の措置を実施します。
- 流域全体

- 魚類の遡上・降下時期や産卵期、鳥類や昆虫類の繁殖期、植物の結実期等に配慮します。
- 流域全体

- 現況の植生を考慮し、必要最小限の道路幅、ルートとなる工事用道路を設置します。
- 流域全体

- 工事中の振動や騒音等を最小限に抑える施工機械を使用します。
- 流域全体



# 破堤による被害の回避・軽減

# 治水・防災

現在も、破堤時の被害の深刻度が高い状況にあることを踏まえ、諸対策を進めます。

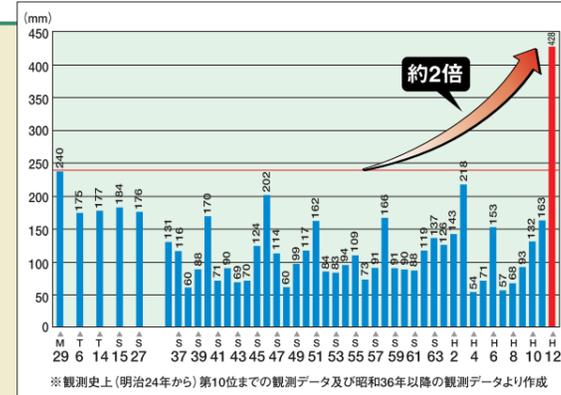
## 現状の課題

○これまでは、一定規模の大雨を目標に洪水を早く下流へ流せるように堤防等の整備を行ってきましたが、平成12年の東海豪雨のように想定以上の豪雨が起ると、土でできた堤防は、洪水に対して万全ではありません。



平成12年9月 新川(名古屋市)の破堤による浸水

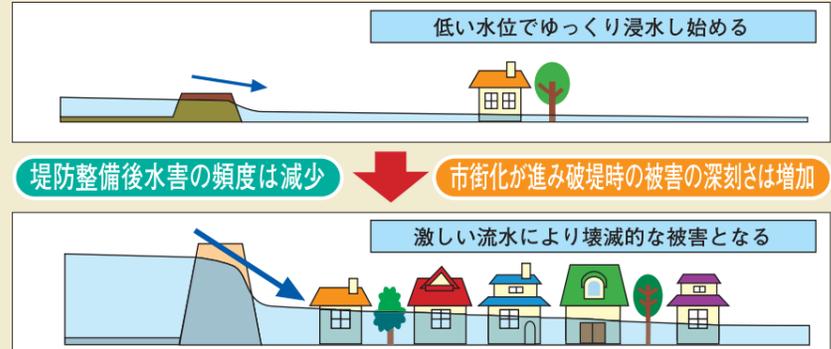
過去の2倍近い降水量



※観測史上(明治24年から)第10位までの観測データ及び昭和36年以降の観測データより作成

○市街地では堤防のすぐ近くまで家が建ち並び、資産が集中しているため、破堤による被害の深刻さ(被害ポテンシャル)は今も増え続けています。

○ひとたび堤防が壊れると、人命や家屋などが失われ、ライフラインが途絶するなどのダメージを受けます。



## 破堤による被害の回避を究極的な目標とします

## 整備内容

### 実施項目

「水害に強い地域づくり協議会(仮称)の設置」……以下の項目等について検討・実施します。

#### 日ごろから備える

○河川情報表示板を沿川に継続設置し、情報提供を行います。

流域全体 ■河川情報表示板



○浸水実績のある地域において、水位や発生原因を表示します。

流域全体 ■浸水実績表示



■川西市防災マップ



○浸水想定区域に応じて、避難経路などを示した洪水ハザードマップ等の作成・普及を支援します。

流域全体

#### 洪水時の対応

1 緊急復旧活動等を行う拠点として防災ステーションを整備します。

出在家地区



○光ファイバー網の整備を継続実施し、市町やマスメディアとの相互接続により、情報伝達体制の基盤整備を行います。

流域全体



○防災機関との連携を強化します。

流域全体

○インターネットや携帯電話を活用し、分かりやすく河川情報を提供します。

流域全体



携帯電話による情報提供

○避難誘導等の体制を整備します。

流域全体

#### 流域で水を貯める

○流域内保水機能、貯留機能の強化について検討します。

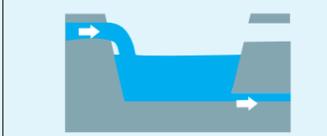
流域全体

■校庭・駐車場・公園に水を貯める  
雨を駐車場などに貯め、少しずつ川に流れるようにします。



■雨水浸透施設を作る  
透水性舗装  
雨  
アスファルト  
地面

■ため池の貯水能力を高める  
ため池を大きくしたり、深くして水をたくさん貯められるようにします。



### 実施項目

#### 堤防補強

○破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施します。

○緊急に補強を実施する必要がある箇所を決定するために、詳細調査を実施し、必要箇所については緊急に補強を行います。

■緊急堤防補強区間



なお、実施に当たり、現地に即した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(平成15年4月設立)で早急に決定します。

**!** あなたはどう思われますか。「ご意見ページ」にご意見をご記入ください。

現状の課題

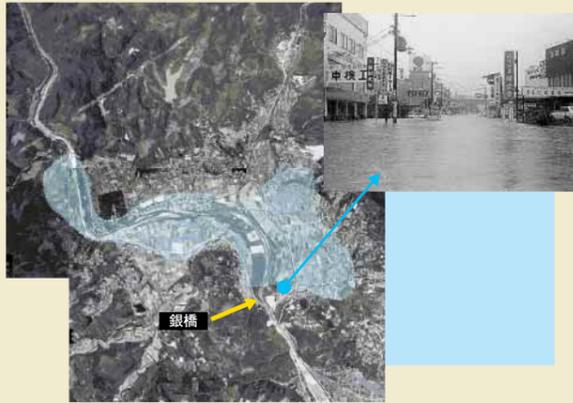
○猪名川の上流部は、京阪神地域のベッドタウンとして急速に開発が進行しています。



銀橋を含む狭窄部と上流の市街地(下流から上流を望む)

○銀橋狭窄部上流域の多田地区では、昭和28年・35年・42年・58年など、水害が頻発しています。

■狭窄部上流の浸水常襲地帯  
(多田盆地・昭和58年9月出水の浸水実績)



狭窄部の開削は下流への流量増により破堤の危険度を増大させます

狭窄部の開削は当面できません

整備内容

検討項目

⑫ 既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標として狭窄部上流における対策を検討します。

銀橋

① 既設ダムの運用変更により、治水効果を検討します。

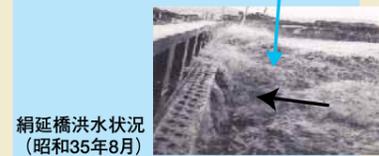
一庫ダム

現状の課題

○狭窄部下流の山地部から平地部へ流れ出る箇所に、無堤地区が存在します。



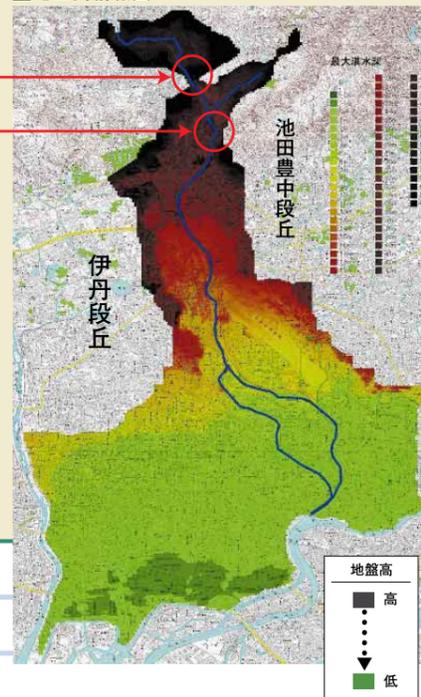
池田市木部町中之島付近(昭和35年8月洪水時)



絹延橋洪水状況(昭和35年8月)

○ここからの浸水は地形上、伊丹地域から大阪平野北部へと広がることが予想されます。

■地盤高情報図



無堤地区の築堤は下流への流量増により破堤の危険度を増大させます

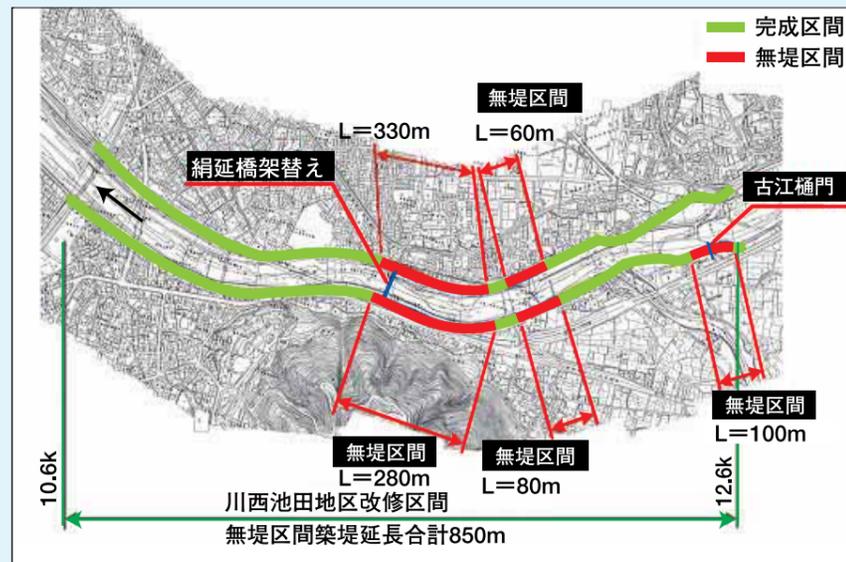
下流の河川整備の進捗状況などを見て判断するのが原則です

整備内容

実施項目

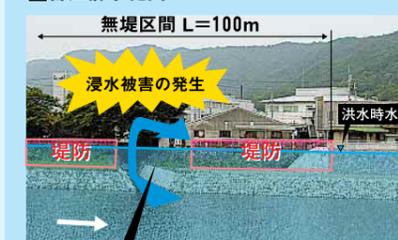
○既に一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間等については、速やかに事業を完了し、浸水被害の軽減を図ります。

⑬ 無堤区間が残る川西池田地区で築堤を実施します。



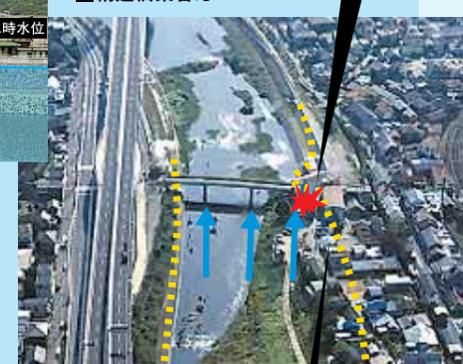
関連事業の必要性

■古江排水樋門



築堤後樋門がなければ洪水時に水路部から宅地に浸水する。

■絹延橋架替



川の水があたり、越水する危険性がある。

築堤位置

現状の課題

○南海大地震発生時には、約2時間で、津波が神崎川・中島川河口まで到達すると予想されています。

津波来襲時の情報提供を強化します

整備内容

実施項目

○津波来襲の危険性と対処の仕方などを示した津波ハザードマップの作成・公表を支援します。

流域全体

○周辺住民への津波に関する広報・学習等を行います。

流域全体

○津波情報が発表された場合における河川利用者への呼びかけ及び樋門等の迅速な操作の為に体制整備を行います。

流域全体



# 利水

実態に則した水利用を目指します。

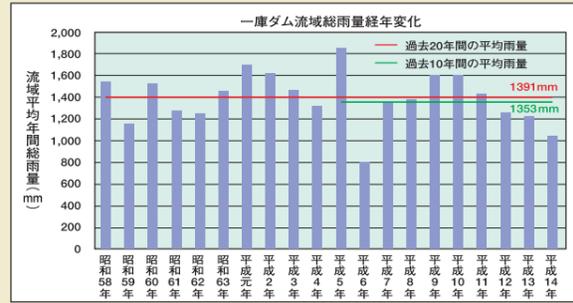
## 現状の課題

- 社会経済の変化により水利権量と実際の必要量に乖離が生じています。
- 近年の少雨化傾向により、渇水が頻発しています。



一庫ダム渇水状況（一庫ダムに流入する田尻川の状況）（平成14年8月21日）

### ■近年の少雨化傾向による渇水調整の頻発化



渇水時の取水制限実施状況  
 H6.8.8~H7.5.12 (最大 上水30%・農水40%) H13.8.14~H13.8.22 (最大 上水・農水10%)  
 H12.8.14~H12.9.12 (最大 上水・農水20%) H14.8.12~H15.2.28 (最大 上水・農水40%)

水需要を把握し抑制を図ります

渇水への対策を進めます

## 整備内容

### 実施項目

#### 利水者の水需要の精査確認

- 水利権更新の際に水需要を精査確認し、適切な許可を行うとともに精査確認結果を公表します。

流域全体

#### 水利権の見直しと用途間転用

- 水需要の合理化に向けた取組として、用途間転用の調整及び慣行水利権の許可水利化の促進を行います。

流域全体

#### 水需要の抑制

- 利水者、関係機関と渇水対策のほか、水利用に関する情報交換、水需要抑制について協議します。

流域全体

## 整備内容

### 検討項目

#### 既設ダムの効率的運用

- ① 取水実態をよりの確に把握し、効率的な補給を検討します。

一庫ダム



# 利用

河川環境の保全を基本とした利用の促進、河川環境を損なう利用の是正を行います。

## 河川敷

## 現状の課題

- 公園、グラウンドの中には本来の川の姿を失わせることとなっているものもあり、河川の特徴を活かした利用形態への見直しが求められています。

### ■河川敷（利用状況）



高水敷公園 軍行橋付近（平成15年1月）

- 違法行為の存在。
- ホームレスの増加。
- 迷惑行為の増大。



適正な利用を促進します

## 整備内容

### 実施項目

#### 「河川保全利用委員会（仮称）」の設置

- 本来河川敷以外で利用するものについては縮小することを基本とし、個々の案件ごとに学識経験者、沿川自治体、地域住民などの意見を聴き、判断します。

流域全体

#### 違法行為対策

- 違法行為是正実施計画を立て早期の是正に努めます。

流域全体

#### ホームレスへの対応

- 法律に基づき、関係自治体と一体となって河川敷地の適正な利用を図ります。

流域全体

#### 迷惑行為対策

- 防止に向けた啓発活動を図ります。

流域全体

## 漁業

## 現状の課題

- 生物の生息・生育環境が改変され、固有種をはじめ在来種の減少を招いています。

河川環境を保全・再生し、結果として、河川の水産資源の保護につなげます

## 整備内容

### 検討項目

- 治水・利水への影響を考慮した上で、水位変動や攪乱の増大及び自然流況に近い流量が流れるように、堰等の運用を検討します。

流域全体

- 河川の流入総負荷量管理や自治体、関係機関、住民とのデータの共有化及び水質事故対応等のため琵琶湖・淀川水質管理協議会（仮称）の設立を検討します。

流域全体

- 土砂移動の連続性を確保するための方策を、山地流域から沿岸海域に至るまで総合的に検討します。

流域全体



あなたはご意見をどう思いますか。「ご意見ページ」にご意見をご記入ください。



# 維持管理

河川施設の機能維持のため適切な対策を実施します。

## 河川管理施設の機能保持

### 現状の課題

- 洪水などによる災害防止のため、堤防・護岸、樋門、観測施設など、河川管理施設の機能保持に向けて、日ごろから操作・巡視点検や維持補修対策を実施しています。
- 施設の老朽化が進み、維持費が増加しています。
- 法面崩壊、護岸のひび割れ、堤防内部の空洞化による陥没などが発生しています。

施設の安全性と信頼性を高めます

### 整備内容

#### 実施項目

##### 堤防・護岸

- 機能低下の恐れがある場合、対策を実施し、堤防内部の空洞化については、応急的対策を行います。

流域全体

- 堤防除草は生活環境を配慮して実施し、刈草の処理は、再資源化処理方法を確立させた後に実施します。

流域全体



尼崎市東園田町地先 (平成14年5月)

##### 堤防・護岸以外の河川管理施設

- 定期的な点検整備、計画的な維持修繕により、信頼性向上と長寿命化を図ります。

流域全体

- 観測施設は日常的な保守点検を施し、異常が生じた場合、速やかに復旧を行います。

流域全体

- 河川情報の迅速な伝達・共有化、操作の確実性の向上を図り、遠隔操作等により管理の高度化を実施します。

流域全体

## 許可工作物の適正な管理

### 現状の課題

- 排水施設の許可工作物で、すでに利用されていない施設があります。
- 老朽化による強度不足のため、河川管理上、支障となっているものも増加しています。

施設管理者への指導を行います

### 整備内容

#### 実施項目

- 利用されていない施設は、施設管理者に撤去を求めます。

流域全体

- 定期的な点検整備と計画的な維持修繕を指導します。

流域全体

- 水防上、措置の必要な箇所は、改善指導します。

流域全体

■操作台、巻き上げ機等改築指示 (日東紡績工場排水樋門)



改築前



改築後

## 河道内維持

### 現状の課題

- 河道内では、高木樹木の繁茂、堆積土砂により、治水への影響が生じているところがあります。



池田市神田地先 (平成14年)

- 河川空間についても、歩行者などの移動が分断されている地区では改善が望まれます。

- ゴミ投棄や流入ゴミ、廃棄物の不法投棄が増えています。



豊中市利倉西地先 (平成12年)

災害防止、安全利用の観点から適正管理を行います

### 整備内容

#### 実施項目

##### 樹木の伐採と管理

- 河川管理上、支障となる樹木は伐採を実施します。実施に当たっては、住民団体等の意見も聞き方法、時期等をさだめます。

流域全体

##### 安全利用のための対応

- 河川敷へのアクセスの改善 (バリアフリー化) を継続実施します。

流域全体



手すり付階段工



緩傾斜坂路 (占用・伊丹市)

- 河川を縦断的に移動が出来る連続性のある小径等を確保します。

流域全体

- 水難事故防止協議会 (仮称) を設置し、対策を検討するとともに危険区域や安全利用についての情報公開を行います。

流域全体

##### 河川内ゴミの処理、不法投棄防止対策

- 美化・清掃活動や塵芥処理を継続実施するとともに、平常時の監視・巡視を強化し、不法投棄の摘発・取り締まりを進めます。

流域全体



尼崎市河川清掃 (平成15年5月18日)

- 住民団体や地域に密着した組織による河川愛護活動並びに住民への啓発を行います。

流域全体

■河川愛護月間 PR 活動状況



伊丹市藤ノ木 (平成15年7月1日)

- 関係行政機関との連携及び組織を設置します。

流域全体

あなたはご意見をどう思いますか。「ご意見ページ」にご意見をご記入ください。



# ダム

より効率的な運用を検討し、浸水被害の軽減を図ります。

## 既設ダム（一庫ダム）

### 現状の課題

●一庫ダムは、治水・利水を通じて社会的要請に応えてきましたが、反面、河川環境や生態系に影響も与えてきました。

### 整備内容

#### 実施項目

- 一庫ダム湖とその周辺を対象に、動植物の生息・生育実態調査を定期的に行います。
- 一庫ダム水源地域の活性化に向け、湖面の活用や周辺環境の整備などハード対策と同時に、地域イベントなどのソフト対策も実施し、ダムに対する理解と協力を促進します。
- 一庫ダムの放流の際に、下流の安全確保のため、警報装置や監視カメラを設置するとともに、自治体や警察、消防などとの連携を図ります。
- 一庫ダムの設備の機能を維持するために計画的な補修を行い、維持管理費の削減を目指します。
- 一庫ダム湖に流入する流木の有効活用を図ります。

## 事業中ダム（余野川ダム）

### ダム計画の方針

- 治水・利水面からダムの効用は大きいですが、水没を伴い、河川環境を大きく改変することも事実です。
- 他に経済的にも実行可能で有効な方法がない場合において、ダム建設に伴う社会環境、自然環境への影響について、その軽減策も含め、他の河川事業にもまして、より慎重に検討した上で、妥当と判断される場合に実施します。
- また、特に以下の事項について留意します。

○狭窄部の開削は当面実施しないことによる狭窄部上流部の当面の浸水被害軽減 ○近年頻発している濁水に対する安全度の確保 ○既存ダム群の再編成

### 見直し・検討結果

ダム計画の方針にしたがい、狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のために考えられるあらゆる対策案を考えました。

#### 狭窄部上流浸水被害軽減対策案

##### 現在の施設を活用する方法

貯留施設（調節池）  
森林の保水機能  
田畑の貯留機能

##### 既設ダムを有効利用する方法

一庫ダムの放流操作の変更  
一庫ダムの予備放流  
一庫ダムの堆砂容量の有効活用  
一庫ダムの利水容量の振り替え  
一庫ダムの嵩上げ

##### 新たな施設で対応する方法

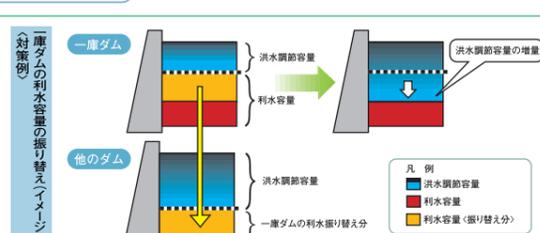
バイパストンネル  
分水路  
新たな遊水地の設置

##### その他の方法

氾濫原対策

#### 余野川ダム計画について見直した結果

- 狭窄部上流多田地区の浸水被害を早期に軽減するため、既存調節池の活用、既設一庫ダムの放流操作変更、堆砂容量の活用や利水容量の振り替えおよび新たな遊水地の設置が有効です。
  - 既設一庫ダムの利水容量の振り替えのための貯留施設として余野川ダムが有効です。
  - 余野川ダムは猪名川下流部の浸水被害軽減に効果があります。
- 現時点では以上について、治水上の効果があることがわかりました。



### 今後の調査・検討

以上のことから、今後は以下の項目について調査・検討を行うとともに、ダム以外の対策についても検討を行います。

- 余野川ダムの貯水池規模の見直し並びに余野川ダムおよび一庫ダムの貯水池運用の変更に伴う環境等の諸調査を行います。
- 土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行います。
- 利水について、水需要の精査確認を行います。

#### 調査・検討中における工事の実施について

調査・検討中の間は、地元の地域生活に必要な道路や、防災上途中で止めることが不適当な工事以外は着手しません。

⑦ 余野川ダム

## 意見の送付は以下の方法でお願いします

たくさんのご意見をお待ちしております。

### 意見の送付方法

#### 1 FAXから…

ご意見ページの「ご意見用封筒・FAX送信票」に必要事項とご意見をご記入の上、右記宛先までご送信ください。



FAX.072-753-5921

#### 2 郵送から…

ご意見ページの「ご意見用封筒・FAX送信票」に必要事項とご意見をお書き頂いたのち、表面に郵便番号、差出人住所、ご氏名をお書きの上、下記宛先までご郵送ください。



宛先 〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39  
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 河川整備計画説明会 係

#### 3 ホームページから…

ホームページからでもご意見を受け付けております。



<http://www.e-ina.net/7ch/iken.html>

## 資料の閲覧・請求は以下の方法で行えます

### 資料の閲覧方法

「淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料」および「淀川水系流域委員会資料」の閲覧は、下記のホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。また、「淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料（第1稿、第2稿）」の郵送も下記のとおり受け付けております。

### 淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料

#### 1 ホームページによる閲覧

下記アドレスで閲覧できます。

<http://www.e-ina.net>



#### 2 郵送で資料請求

ご意見用封筒、又は官製ハガキに必要事項をお書き頂いたのち、下記宛先までご郵送ください。



猪名川河川事務所

※官製ハガキをご利用される場合は、ご郵送先の住所、郵便番号、ご氏名をお書きいただき、必要な資料（第1稿、第2稿）を明記の上、下記宛先までご郵送ください。

宛先 〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39  
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 河川整備計画説明会 係



お手元へ

#### 3 FAXで資料請求

「ご意見用封筒・FAX送信票」の資料請求欄にお名前、ご住所、郵便番号等必要事項をご記入の上、右記宛先までご送信ください。所定の用紙以外でも必要事項をご記入の上ご送信いただけます。



FAX. 072-753-5921

### 流域委員会資料

#### 1 ホームページによる閲覧

下記アドレスで閲覧できます。

<http://www.yodoriver.org>



#### 2 郵送で資料請求

資料についてのご質問、または郵送をご希望の場合は、下記宛先までお問い合わせください。

宛先 〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2（近鉄堂島ビル7F）  
淀川水系流域委員会 庶務 株式会社三菱総合研究所 関西研究センター  
TEL.06-6341-5983 FAX.06-6341-5984

■寄せられたご意見は、公表させていただく場合がございます。いただいた情報は、河川整備計画策定以外の目的に利用することはありません。ご意見を公表する場合には、お名前、ご住所（居住地の市町名まで）、職業（団体名等も含む）も公表させていただきます。お名前等公表に支障がある場合は、☒を○でお囲みください。

あなたはご意見をどう思いますか。「ご意見ページ」にご意見をご記入ください。



# ご意見用封筒

裏面にご意見をお書きの上、外側の太い線で切り取り、点線で折ってのりづけし、ご投函下さい。

FAXで送信される方は、破線に沿って切り取り、お送り下さい。



(やまあり)

料金受取人払

池田局承認

313

差出有効期限  
平成15年9月30日まで  
(切手不要)



国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所  
河川整備計画説明会 係 行

563-8790

大阪府池田市上池田2-2-39

(各封筒ごと)

(各封筒ごと)

(やまあり)

この面がのりしろになります

この面がのりしろになります

この面がのりしろになります

■差出人住所	〒	_____
■氏名	_____	_____